

令和6年度 男子バスケットボール部の指導方針等について

令和6年4月1日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	赤星 隆幸	君島 達也	指導歴 40年	年 180 時間
副顧問	阿部 光寿			

2 年間目標

- (1) 他者のために協力し、当該部活動及び本校の活動を活発にすること。
- (2) 部活動を通して高校生として身につけるべき人間性を育むこと。
- (3) 高体連主催の大会において、新人戦本大会出場・東京都ベスト32を目指す。

3 指導方針

- (1) 誰か一人だけが、仕事、役割を抱えるのではなく、すぐに自分から手伝えるようにする。
- (2) あいさつ、礼儀、マナー、モラル、約束など社会に出てから当たり前のことを必ず身に付けて、できるようにする。
- (3) 他人を馬鹿にする・蔑むような言動は絶対にしない。
- (4) 各時期に合わせて適切にトレーニングを行い、心身ともに成長させていく。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインなどを活用して、顧問、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間のいじめ・僕力の未然防止
常に話し合い全員で問題を解決させていく。
話し合いの中で威圧的な態度をとったり、人権を侵害する言動を厳に禁じる。
話し合いの結果は必ず毎日顧問に報告する。
※部員のみで話し合いで解決できない場合は必ず顧問に相談をすること。
- (3) 事故防止・安全配慮
部員同士の勝手なルールを作らない。部活内のルール作りは顧問も交えて決定する。
部室は着替えのみで利用する。練習前後、部室に着替え以外で留まることを禁止とする。
部室の掃除については当番制とし、顧問立ち合いの元掃除を行う。
部室は顧問が見回り管理監督する。

5 活動の手順

- ・着替えは部室で（部室は清潔に保つこと）。
- ・活動の準備（道具、用具）。
- ・ミーティングしてからはじめる。（今日のやるべきこと・ポイントの確認）
- ・ウォーミングアップ（ジョギング・準備運動・ストレッチ）
- ・基礎練習・部分練習・本練習
- ・クーリングダウン（ジョギング・整理運動・ストレッチ）
- ・活動が終わったら、ミーティング
- ・雑巾を戻す、モップをかける。（ゴミ、ホコリはゴミ箱へ）